第1号様式
所属進行表

業務運営進行表

（平成２５年４月１日～平成２６年３月３１日）

所　属	局名	部名	室・課（出先は所属）名
	教育局	－	藤沢清流高等学校

Ⅰ　業務概要

単位制による全日制の課程　普通科

Ⅱ　収支の状況

（単位：千円）

			第１・四半期	第２・四半期	第３・四半期	第４・四半期	出納整理期間	累計
収入	収入科目	年間計画額	収入済額					
	使用料及び手数料	300	155	70	67	73		364
	財産収入	1,682	1,682					1,682
	その他	270	47	89	68	210	1	416
	収入計(A)	2,252	1,884	160	134	283	1	2,462
支出	事業経費 項目	(再)配当額	支出済額					
	事業費	37,070	4,298	11,066	9,016	8,369	1,380	34,129
	維持管理費	19,464	3,600	4,416	6,338	5,826	2,226	22,406
	計	56,535	7,898	15,482	15,354	14,195	3,606	56,535
	人件費 給与（下記手当を除く）		81,558	77,878	79,690	80,507		319,633
	通勤手当		2,395	898	2,453	1,041		6,787
	期末勤勉手当		49,195		51,031			100,226
	給与計		133,147	78,776	133,174	81,548		426,645
	共済費相当額		19,543	19,483	19,632	20,172		78,830
	退職手当相当額		9,556	9,556	9,578	9,600		38,289
	計		162,247	107,815	162,383	111,319	0	543,764
	支出計(B)		170,145	123,297	177,737	125,514	3,606	600,299
差額(A)－(B)　（注１）			△ 168,260	△ 123,138	△ 177,603	△ 125,231	△ 3,605	△ 597,836

（注１）差額の△(マイナス)には、県税や県債、国庫支出金等を充当しています。
（注２）各項目毎に千円未満四捨五入を行っているため、各計欄は各項目を合計したものと一致しない場合があります。

Ⅲ　職員配置状況

	区分	４月１日	７月１日	10月１日	１月１日
配置職員数	常勤職員	51	51	51	51
	再任用職員	5	5	5	5
	臨時的任用職員	4	4	4	6
	非常勤職員	41	42	42	44
	計（人）	101	102	102	106

Ⅳ　業務実施状況

１　生徒数の状況（平成25年４月１日現在）

		１年	２年	３年	合計
学級数		6	6	6	18
生徒数	男	119	102	120	341
	女	121	141	120	382

２　年間行事予定

４月	始業式　入学式　フレッシャーズキャンプ　実力診断テスト　生徒総会
５月	身体計測　新体力テスト　３年次進路支援講演会　PTA総会　陸上競技大会　前期中間試験
６月	保護者対象進路講演会　キャリアカウンセリング週間　２年次進路講演会　生徒会役員選挙
７月	前期期末試験　推薦入試説明会　学校説明会
８月	部活動体験デー　インターンシップ
９月	Festa清流　スポーツ大会　防災訓練　前期終業式
10月	地域貢献デー　オープンスクール　実力診断テスト　第２回保護者対象進路講演会　研修旅行
11月	上級学校による模擬授業　入学選抜説明会　後期中間試験
12月	個別相談説明会
１月	ふれあい書初め　三校交流事業
２月	マラソン大会　学習成果発表会
３月	卒業式　後期期末試験　合唱コンクール　スポーツ大会　修了式

３　進路の状況

		平成22年	平成23年	平成24年
卒業者数		228	236	230
進学	４年制大学	104	115	135
	短期大学	27	39	21
	専門学校・各種学校	63	48	56
就職		15	6	3
その他・進学準備等		19	28	15

Ⅴ　業務運営に関する評価

１　平成25年度の学校目標

・幅広い学習ニーズに対応する多様で柔軟な教育の展開
・生徒一人ひとりに応じたきめ細かな教育支援
・確かな学力の向上
・社会生活実践力の育成
・地域・保護者との協働・連携による開かれた学校づくり
・信頼に根ざした学校づくりの推進

2　平成25年度の学校目標の評価

・外部との連携による授業は昨年度にも増して充実し、生徒の自発的学びの刺激に効果的であった。
・ケース会議などの仕組みを活用し、学校全体の協力のもと組織的に、課題を有する生徒に対する支援ができた。
・アクティブラーニングを取り入れた授業の研究を中心として、授業改善への取り組みが大きく進展した。
・キャリア教育実践プログラムに基づきキャリア育成を実践とともに、課題発見力・課題解決力を育成することができた。
・ホームページを中心とした情報発信はさらに充実したものとすることができた。
・防災備蓄品の充実を図ることができた。

連絡先（電話番号）	0466-82-8112